

2023
4月号 津山商工会議所
TSUYAMA

所報



vol.577 4月10日発行



津山商工会議所HP

鶴山公園の菜の花



防犯カメラも当社におまかせください！

このような問題を解決します！

- ☑ 防犯カメラを犯罪・事故の抑止に積極的に活用したい
- ☑ 工場・倉庫・マンション・ビル・店舗などにセキュリティシステムを導入したい
- ☑ 目的に合った防犯カメラを提案してほしい
- ☑ 防犯カメラを設置したいが、初めてなので良く分からない
- ☑ 防犯カメラを設置後のアフターフォローも重視したい
- ☑ 映像流出の心配がない安心なネットワークカメラを設置したい

防犯カメラを設置して業務を効率化、セキュリティを強化。

受付



エントランス



サーバー室



駐車場



本部



遠隔から、各オフィスのカメラ映像をチェックすることができます。
*ネットワークの環境が必要となります。

エレベーター内



通用口



事務所



取扱商品 ; ビジネスフォン、複合機、防犯・監視カメラ、ネットワークカメラ、パソコン、セキュリティ機器、インターホン、テレビ会議システム、放送設備、非常放送設備、電気錠、火災報知器など通信機器全般、設計・工事・メンテナンス可能です

*社内のWiFi環境も整備します
簡単なLAN工事もお気軽にご相談ください

アサヒ通信システム株式会社

〒708-0886 津山市昭和町2丁目88-1
TEL(0868)23-0011
FAX(0868)23-0058

所報

Topic
トピック

4月号 vol.577

02 // 会議所のうごき 臨時議員総会の開催

03 // 2023年度 事業計画

04 // 会員事業所優良従業員表彰式

日々の情報収集に
津山商工会議所 経営支援アプリ

こちらのQR
コードから
無料ダウンロードが
できます



事業のPRにも
公式 Instagram
@tsuyamacci3303



所報のバックナンバーは
こちら



津山商工会議所 スケジュール 2023年4月10日～5月15日

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	4/10	11	12	13	経営 IT 14	15
16	よろず 17	18	19	経営 20	経営 IT 21	22
23	よろず 24	25	26	経営 27	経営 28	昭和の日 29
30	よろず 常議員会 5/1	2	憲法記念日 3	みどりの日 4	こどもの日 5	6
7	よろず 8	9	10	11	12	13
14	よろず 15					

専門家無料相談 経営 働き方改革 IT 税務 労務 完全予約制

ご予約はこちらから TEL:0868-22-3141

当所ホームページまたは、経営支援アプリの予約フォームからご予約下さい。



よろず 支援拠点の予約はこちらから

公益財団法人 岡山県産業振興財団 TEL:086-206-2180



会議所のうごき

3/24(金) 臨時議員総会の開催

57名の役員議員の皆様がご出席され、臨時議員総会が開催されました。

議決事項

- 1 労働保険事務組合の手数料規程改定(案)について
- 2 給与規程の改正(案)について

報告事項

- 1 2022年度一般会計・特別会計収支補正予算について
- 2 2023年度事業計画について
- 3 2023年度一般会計・特別会計収支予算について
- 4 議員の交代について
新任者 多賀井 敦 アクサ生命保険(株)津山営業所長
山本 武司 中国電力ネットワーク(株)津山ネットワークセンター 所長



▲臨時議員総会の様子

会頭挨拶

我々を取り巻く経済環境は、2023年も試練の年になると実感されていると思います。連日の報道でも、経済成長率が0.6から0.1%に下方修正されるなど、日本経済は「ゼロ成長」の時代に入ったと印象づける記事が目につきます。

コロナ禍により2020年に行動制限が全国に拡大した時は、収束すれば経済活動はもとに戻り、反動で爆発的に景気は良くなるというのが専門家の大方の見方でありました。ところが、行動制限が緩和されてもなかなかもとには戻りません。多くの業種でコロナ前の7割から8割までというのが今の状況だろうと思います。

自然災害のように既存の店舗や工場が被災したり、生産設備が壊れたりということではないので、事業者側は再開の準備ができていても、消費が戻ってこない、注文もとに戻らないというのが、実態ではないでしょうか。

それはなぜか、現在、多くの研究者により、3年におよぶパンデミック下での人々の経済行動について、さまざまな角度から調査と分析が行われ、その結果が発表されています。

それらの共通した指摘が、経済再開の局面で、企業も個人も、だれもが同じ行動をとっているという事実です。この特徴を表すキーワードが「同期化(シンクロ)」です。

通常、人々の経済行動は、「同期化(シンクロ)」しません。例えば、誰かがレストランに行かなくなったとすれば、空席が目立ち、別の誰かが、空いているので行ってみようかと考えるように、誰かがなんらかの行動をとれば、それとは真逆の行動を別の誰かがとります。こうした通常の行動のメカニズムによって、経済は全体として安定が確保されます。

しかし、現状は、あり得ない同期化という現象が起きているというのです。こうした現象は、経営者や消費者の心理に、無意識に「備える」という意思が働き、将来に備える、災害に備える、戦争に備える、という不安から行動が同期化しているのではないかと、専門家は指摘します。

そして、同期化された企業や人々の行動が、次に引き起こす現象は、さまざまな物品やサービスについて、これまでの価格や生産、提供のあり方をも大きく変えてしまうということです。

つまり、需要が増えた物品の価格は上昇し、減った物品の価格は下落し、消滅するという具合に、物品やサービスの付加価値価格が大きく変わっていくということです。現在起きている世界規模の品不足も、世界の企業や人々の行動変容の同期化によって引き起こされている一面もあると指摘されています。

とりわけ、こうした新たな価格体系への移行は、次の成長につながるようになるのですが、これを国の支援や金融政策等で無理やり止めるのは、かえって経済成長を遅らせるとともに、将来の価格体系をゆがめることになるかと専門家は忠告しています。

それでは、我々はこの局面でどうすればよいのか、結論から

申し上げれば、値上げに転じ、将来の価格移動を見据えて適正価格として価格転嫁に動くのが最善策になるということです。不安もあると思いますが、将来の経済成長という視点でとらえれば、値上げのほかに選択肢は残っていないと考えます。

続いて、賃上げについて申し上げます。

現在、貿易収支が大幅な赤字になっているのは、物価高騰が輸入コストの急激な上昇、いわゆる、コスト・プッシュ型インフレということの裏付けでもあり、我々企業の収益が海外へ流出しているということです。

つまり、物価上昇分に対応するため、それに負けない賃金アップを我々に求められても、多くの地方の中小企業はコスト負担の増大で、賃上げに応じるだけの原資が残っていないというのが現実です。

さらに付け加えれば、今回の物価上昇分に関しては、我々中小企業の賃上げに頼るのではなく、国の一時的な物価対策と支援によって乗り切るしかないというのが、私の考えであります。

それでも、国が賃上げを求めるとであれば、中小企業の経営者に響く、経済成長の現実的なシナリオが必要で、脱炭素で世界をリードする、子育て・教育立国を築く、科学技術で最先端を走るなど、成熟した先進国としての理想像をより具体的な成長戦略として、国が示すことができれば状況は大きく変わります。

例えば、電気等のエネルギー価格の固定化、大型の公共投資によるデジタル化やカーボンニュートラルの推進、一時的な大幅な減税などの財政支援などを国策として示すことで、国内市場に成長の展望が見えれば、我々企業は設備投資をし、人を育て、賃金も上げる、そして、自らの将来計画も新たなステージへと描き直すことができるのです。

我々が求めているのは、「物価と賃金の好循環」ではなく、「成長と賃金の好循環」であることを、もう一度、改めて日商を通じて、国や関係機関に訴えていきたいと思っています。併せて、市に対しても、今やるべきことは、市民一人ひとりの不安を払拭し、消費意欲を高めるための内需拡大策を、わかりやすい政策として打ち出すことだと、もう一度、訴えてまいります。

以上、私の考え方の一端を述べてまいりましたが、総じて申し上げれば、我々は、長年しみついたデフレマインドから抜け出すために、価格を上げ、取引価格の適正化を求め、賃金を上げることで、自ら意識改革に挑戦しなければならないということです。

今後も不透明感が増すこととなりますが、津山商工会議所は、この激動の時代を乗り越えるために、あらゆる分野で活動を展開してまいりますので、引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。

2023年度事業計画〈重点事項〉

1 生産性向上と多様な人材の活躍推進

人口減少、産業の空洞化に直面する地方にとって、デジタル技術の活用こそが未来への扉になる。また、会員企業のデジタルシフトによる生産性向上とイノベーションの推進は、地域社会全体の利便性向上につながることも、多様な人材の登用を具現化する。

官民連携によるスマートシティの推進に貢献するとともに、会員のIT・デジタル化を伴走型で支援する。

2 円滑な事業承継と起業・創業の促進

これまで地域の中で、営々と受け継がれてきた価値ある事業や技術は、次世代へ承継していくことが重要であり、また、経済成長のためには事業の新陳代謝も必要である。

「事業承継と新たな挑戦」をテーマに各関係機関との懇談会を設置し、成長分野への投資なども視野に、円滑な事業承継、第2創業への環境づくりなど、成長のための取組を推進する。

3 パートナーシップ構築宣言の推進

将来にわたり、地域経済の成長を持続するためには、取引価格の適正化は不可欠である。こうした取組は、経済三団体のトップが、グループ企業に宣言拡大を呼び掛けるとともに、社内や取引先に周知徹底を要請している。

当所でも会員企業に宣言を呼び掛けるとともに、地域社会全体への浸透に取り組むこととする。

4 地方創生の推進

国の政策として、地方創生が提唱されてから8年が経過した。しかし、東京一極集中は今も続いており、現状レベルの本市の対策では限界であり、もう一度、官民連携による総合的な戦略を考えなければならない。

あらためて、実効性の高い、地域ぐるみによる取組を提唱し推進する。

〈主要事業〉

1. 生産性向上への支援

- ・会員企業のデジタルシフトへの支援
- ・IT人材の確保と育成の推進

2. 人手不足への対応

- ・多様な人材の労働参加の推進
- ・働き方改革への対応支援
- ・リスクリテラシー、リカレント教育の推進

3. 円滑な事業承継と税制改正への対応

- ・事業承継懇談会（市・金融機関）の開催
- ・税制改革に対する要望
- ・インボイス制度への対策

4. 起業・創業の促進

- ・改正小規模支援法に伴う事業再構築への支援
- ・伴走型支援体制の強化
- ・イノベーション事例の調査・研究

5. 地方創生の加速

- ・津山CCI版の地方創生総合戦略の策定と提言
- ・パートナーシップ構築宣言の推進
- ・SDGsの推進

6. エネルギー・環境対策

- ・地域社会のカーボンニュートラルの官民連携による推進
- ・会員企業のカーボンニュートラルの推進及び補助メニューの調査・研究
- ・電力のベストミックスの推進

7. 中心市街地の活性化

- ・第2次活性化構想の策定
- ・津山市及び中心市街地活性化協議会への要望

8. 新会館建設の推進

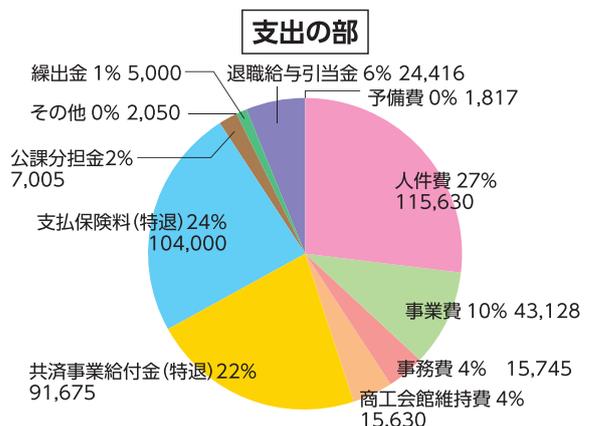
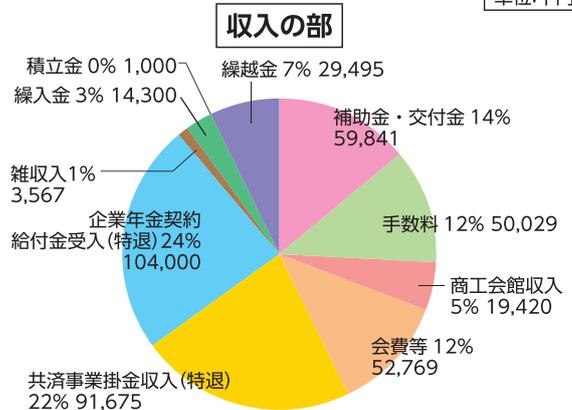
- ・新会館機能及び構造等の構想策定

9. 組織力強化及び会員サービスの向上

- ・会員増強、情報発信力等の強化
- ・女性会・青年部の活動支援

2023年度 当初予算の全体像(予算額426,096千円)

単位:千円



会員事業所優良従業員表彰式

臨時議員総会におきまして、会員事業所優良従業員の表彰式が行われました。
この表彰は、会員事業所に30年以上または、20年以上勤務し、斯業の発展に尽くし、他の従業員の模範となる皆さまを表彰するものです。

順不同・敬称略

30年表彰	事業所名	表彰者	事業所名	表彰者	事業所名	表彰者
30名	(株)亀井眼鏡店	池上里美	日本植生(株)	丹野喜和	日本植生(株)	高下貴雄
	共和機械(株)	今井隆之		正木功士		中野健一
	(株)廣陽本社	高家静香		谷口二郎		早嶋博彦
	コマツ美作(株)	八木加津美		石津慎司	美作マツダ自動車(株)	河合靖弘
	末沢建設(株)	有木裕治		木幡由佳里		明井章悟
	(株)セキサン	上田博美		金平洋一		杉訓和
		浦上常昭		吉本三恵		舞原宏行
		山口勝彦		豊原大介		鈴木康充
津山ガス(株)	松原直樹	関宜成	徳山英二			
	伊賀和幸	有川小枝子	河島孝文			

20年表彰	事業所名	表彰者	事業所名	表彰者	事業所名	表彰者
21名	(株)ありき	川井裕子	共和機械(株)	岸祐子	日本植生(株)	中村敬治
	浮田建設(株)	佐古正人		堀達也		小田綾
	(有)永和建設	下山儀博	コマツ美作(株)	亀井義美	美北建設(株)	前田和範
		佐々木幸二		松田正憲		奥田考弘
	菅田(株)	田村久仁子	(有)さしこう	中山満子	美作マツダ自動車(株)	石原和毅
		奥野貴美子		桑田聖子		米井久善
	谷山房子		芦田雅子			



30年表彰



20年表彰

3/10(金)

県連臨時総会並びに県下会頭・副会頭会議／津山市内視察

(一社)岡山県商工会議所連合会 令和4年度臨時総会並びに県下商工会議所会頭・副会頭会議がザ・シロヤマテラス津山別邸にて開催され、県下12商工会議所から松田久県連会長をはじめ、正副会頭・専務理事ら計55名の出席により、令和5年度事業計画(案)・予算(案)等の議事について協議されました。

また、会議後は、4グループに分かれ①ザ・シロヤマテラス津山別邸 ②グリーンヒルズ津山とGlobe Sports Dome ③津山工業高等専門学校見学と活動研修 ④津山洋学資料館と城東地区を視察しました。



会議の様子



Globe Sports Dome 見学



津山工業高等専門学校

2023年度健康診断費用の助成申込について

今年度も会員共済制度（ごんちゃん共済・団体扱い生命保険）のご加入者を対象に、健康診断費用の助成を行います。

申込期間 2023年4月10日(月)～5月31日(水)
 対象健診期間 2023年4月1日(土)～2024年3月22日(金)
 助成額 助成A 上限5,000円
 助成B 上限2,000円

助成Aは、2022年度に助成を受けた被保険者の方は対象外になります。

■お問い合わせ先 津山商工会議所 会員サービス班 TEL.0868-22-3141

津山商工会議所ホームページ▶



健康診断費用助成チラシを同封しております。詳細はそちらをご確認ください。



企業が求める資格、第1位

日商簿記検定のご案内

第164回 日商簿記検定(統一試験方式)

試験日：6月11日(日)
 実施級：1～3級
 試験会場：津山商工会館(予定)
 申込受付期間：4月24日(月)～5月13日(土)
 申込方法：ネット申込

*2023年度津山商工会議所
 施行検定試験一覧表(チラシ)を
 同封しております。



▲お申込はこちら ▲日商簿記検定について

日商簿記検定の様々な試験方式

- 統一試験方式(ペーパー試験)
 年3回(6月、11月、2月)の全国統一試験日に、各地商工会議所が定めた試験会場で実施します。ペーパーでの受験を希望される方におすすめです。
- ネット試験方式
 ネット試験会場が定める試験日時に、パソコンを使用し、インターネットを介して試験を実施します(随時可能)。受験後、すぐに合否が判明するので、速やかに試験取得を目指す方におすすめです。

当所が健康経営優良法人2023に認定されました

3月8日(水)に経済産業省より「健康経営優良法人2023」の認定企業の発表があり、津山商工会議所が中小企業法人部門で2019年から5回目となる認定を受けました。

当所の取り組み

- ・ 職員の健康診断受診率100%
- ・ 有給休暇の取得奨励
- ・ 職員の意識向上を図るセミナーの実施など



津山市の認定会員企業

大規模法人

(株) 美作グループ本社

中小規模法人

(株)アーヴァンマエハラ
 (株)アークコンサルタント
 (株)青野石油店
 (株)アサヒコーポレーション
 (株)オオーレック
 岡山電気工事(株)
 鶴山運送(株)
 岸陸送(株)
 (株)北園調剤薬局

(株)近藤組
 三和精密(株)
 繁屋運送(株)
 (有)真成運輸
 (株)すえ木工
 (株)セキサン
 ツチダ産業(株)
 津山商工会議所
 津山信用金庫

(福)津山福祉会
 (株)テレビ津山
 ときわ製作所(株)
 (株)ナンバ
 (株)ナンバホームセンター
 仁木鉄工(株)
 (株)Beコム
 東建設(有)
 蒜山食品加工(株)

富士岡山運搬機(株)
 富士パレット(株)
 (有)峰南運輸
 (株)ホンダカーズ津山
 (有)マキシシステム
 (株)マルイ
 (株)ワードシステム
 (株)わかば保険センター

小規模事業者持続化補助金

小規模事業者持続化補助金は、小規模事業者が自社の経営を見直し、自らが持続的な経営に向けた経営計画を作成した上で行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度です。経営計画書の作成には時間がかかりますので、申請を希望される方はお早めの相談予約をお願いいたします。当所専門家相談をご利用ください。

申請受付締切

第12回：2023年6月1日（木）

第13回：2023年9月7日（木）

類型	通常枠	賃金引き上げ枠※	卒業枠※	後継者支援枠	創業枠
補助率	2/3	2/3 (赤字事業者は3/4)	2/3	2/3	2/3
補助上限	50万円	200万円	200万円	200万円	200万円
インボイス特例	50万円※インボイス特例の要件を満たしている場合、上記補助上限に50万円を上乗せ				

※補助事業終了時点で一定要件を満たす必要があり、満たさない場合、補助金交付は行われません。

特別枠は追加申請要件等があります。詳しくはHPをご確認ください。

・販路開拓に必要な経費の一部を補助します。

・汎用性が高く目的外使用になりえるもの（車・オートバイ・自転車・文房具等・パソコン等）は補助対象外となります。



詳しくはHPをご確認ください。

持続化補助金 一般型

検索

■商工会議所地区 補助金事務局

03-6632-1502 (9:00~12:00、13:00~17:00)

中小企業大学校 広島校 サテライト・ゼミ IN 津山 開催

令和5年3月15日（水）16日（木）の2日間、津山圏域工業会および津山商工会議所の共催による「中小企業大学校サテライト・ゼミIN津山」を開催しました。

「サテライト・ゼミ」は通常、中小企業大学校でしか受講できない各種研修を各地で出張開催するもので、津山市では昨年に引き続き2回目の開催となりました。

研修会に先立って開催された開講式では、津山圏域工業会中村政弘会長に挨拶をいただき、オリエンテーションの後、研修を行いました。

講師に（株）実践マネジメント研究所代表 植條 英典氏を迎え、「現場で取り組むポカミス防止 生産現場におけるポカミス対策の進め方」のテーマのもと、地元企業の従業員ら8名が参加し、両日ともに座学、演習、グループワークを交えながら生産現場におけるポカミス対策の進め方について実践的に学びました。研修終了後は終講式を行い、修了証書の交付を行いました。

参加者からは、「ポカミスは意識すれば減らすことが出来るので今回学んだ内容を自社でのポカミス対策に活かしたい。」などといった声をいただき、大変有意義な研修会となりました。

今後も様々なテーマで当事業を実施していきたいと考えておりますので、ぜひご参加お申し込みをお願いいたします。



中村政弘会長挨拶



植條英典講師挨拶



研修の様子



3/23 (木) 津山観光ボランティアガイドの会にジャンパーを贈呈 於 津山商工会館 2階 議員室

昨年12月9日に行われた《創立50周年記念》会員チャリティーバザーの収益金の一部から津山観光ボランティアガイドの会に観光ボランティアジャンパー10着を贈呈しました。

山本会長より、「たくさんの候補の中から、今年は観光ボランティアへのジャンパーをとという声が一番多く、今回贈らせていただくことになりました。これからも地域の為にともに頑張っていきたいと思います。」との挨拶がありました。

贈呈を受け観光ボランティアガイドの得能氏は、「今、津山の町はマスコミでも良く取り上げられ、ホットな町となっています。我々の出番でもあるので、これから益々頑張っ活動して、津山の人達のみならず、県外の方々にもしっかり津山の案内、宣伝をしたい。これからも女性会の皆様と連携して観光の為にできることをやっていきたい。」と熱く語られました。

これからも女性会は地域に密着した支援を細やかに行っていきたいと思います。



正副会長と観光ボランティアのお二人



津山情緒踊り

3/25 (土) 津山情緒踊り連参加 於 津山鶴山公園

広報委員会(岡美津子委員長)主管のもと、山本京子会長以下12名で津山さくらまつり「津山情緒保存会」の踊り連に参加しました。皆の熱い気持ちが届いたのか、雨予報から一転して良いお天気になり、園内の桜はほぼ満開に咲いていました。その美しい桜にも負けないくらい優雅な踊りを皆様に見ていただけたのではないのでしょうか。伝統的な踊りを後世に伝えるため、津山商工会議所女性会としてその一助となれば幸いです。



YEG 津山商工会議所青年部 Young Entrepreneurs Group



3/22 (水) 総括例会 於 津山商工会館 1階大ホール

総務委員会(西村卓晃委員長)主管のもと、釣谷会長以下60名参加で開催しました。今年度の津山YEGが行った事業について、釣谷会長以下役員・各委員会の委員長より一年を振り返り事業報告・反省・次年度への引継ぎについて総括を発表しました。



会長総括



集合写真



卒業生 集合写真

3/26 (日) 追出し事業「お花見」 於 美作の丘

総務委員会(西村卓晃委員長)主管のもと、お花見を開催しました。本年度は会長を経験した元部直前会長、釣谷会長をはじめ計11名が卒業しました。釣谷会長の乾杯で始まり、卒業生との最後の楽しい時間を過ごしました。卒業生によるサイコロトーク、花束贈呈、卒業スピーチが行われ、最後に宇治次年度会長による歌のプレゼントがあり、盛大に卒業生を追い出せる事ができました。



集合写真

新入会員紹介

ご加入ありがとうございます

2023年4月1日現在 総会員数 **2,500**件

事業所名	代表者	住所	営業内容
M78	藤本 一紀	大田 493-8	美容院
合同会社系から布へ まいぷれ津山市	竹内 周作	山北 2-10	情報処理・提供サービス 地域ポータルサイト「まいぷれ」運営
農家民宿 ファームテラスたかくら	難波 宏明	下高倉東 1504-1	農家民宿
城西市場	江見 かおり	坪井町 20	飲食業
鷹政	河原 正	坪井町 20	居酒屋
かばはうすホールディングス(株) 炉端かば津山店	松田 幸紀	京町 25	居酒屋
プルデンシャル生命保険(株) 岡山第二支社	三宅 貴也	岡山市北区下岩井 2-2-5 ニッセイ岡山スクエア 9F	生命保険業

変更がございましたら 津山商工会議所 総務課までお問い合わせください。
TEL. 0 8 6 8 - 2 2 - 3 1 4 1 E-mail : info@tsuyama-cci.or.jp



まちなかシネマ 上映のご案内

一般：1,500円 学生：1,200円 小人：1,000円
(200円割引券有)



◀映画
『映画ドラえもん
のび太と空の
理想郷』

4月22日(土)～23日(日)

- ①10時30分～
- ②14時30分～

ご来場者様へのお願い

- ・発熱、咳などの症状や、体調に不安がある方は、ご来場をお控えください。
- ・全てのご来場のお客様にマスクの着用をお願いいたします。
- ※マスクを着用されていない場合は入場をお断りいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- ・ソーシャルディスタンス確保に可能な限りご配慮ください。

音楽文化ホール ベルフォーレ津山

津山市新魚町17アルネ・津山7階

ベルフォーレシアター メール会員募集中!!

登録していただくと
ベルフォーレシアター
最新情報が届きます。

登録はこちらから →
入会QRコード



津山商工会議所パソコン教室

「モバイル・インターネットよくばり講座」が開講します

年代を問わず人気のサービスであるフリマアプリや動画配信サービス、ふるさと納税やPayPay などをご紹介します。スマートフォンやインターネットをより楽しく便利に活用していただけるようになる講座が新設されました。



開校予定日 4月25日(火) **標準受講時間** 6～8時間 **全4単元**

- 内 容**
- 1単元 メルカリを楽しもう
 - 2単元 映画やドラマを見よう
 - 3単元 ふるさと納税をやってみよう
 - 4単元 PayPay を始めよう

■お申込・お問い合わせはこちら
津山商工会議所 パソコン教室
津山市山下30-9 津山商工会館4階
TEL: 0868-35-3323



誌 面 広 告 募 集 中 !!

【ご利用例】

- ・サービス・商品の告知や販促に
- ・セミナー・イベントの告知に
- ・事業者・店舗向け商材のPRに
- ・新店舗PRや移転案内に

横1/2ページ
22,000円

標記のお値段で

3カ月連続掲載が出来ます!

※掲載内容は、期間中に変更可能

■お問い合わせ先
総務課 所報係
TEL:0868-22-3141
Mail:info@tsuyama-cci.or.jp



横1/8 ページ
5,500円

「所報」は、毎月約2,500部発行
会員企業等へお届けしております

横1/4 ページ
11,000円

サイズ見本
1/8 ページ…赤色 1/4 ページ…青色 1/2 ページ…黄色
全ページ 44,000円もご相談ください!

メール配信による 情報提供サービス をご活用ください!

DX(デジタルトランスフォーメーション)推進の一環として、メール配信による情報提供サービスを行っております。毎月の所報をはじめ、幅広い情報を迅速に受け取ることができますので、ぜひこの機会に、メールアドレスのご登録をご検討ください!

また、お手持ちのスマートフォン・パソコン等で所報を見ることで、**ペーパーレス**にもつながります。既にメール配信サービスをご活用されている方で所報の郵送が不要な場合は、下記お問い合わせ先まで、ご連絡をお願いします。

主な配信内容

- ①経営支援情報やセミナーイベント情報
- ②会報誌「所報」と折り込みチラシ
- ③自然災害発生時の緊急連絡手段として!

所報は、過去数年のバックナンバーを電子化し、ホームページ上で閲覧することが出来ます。

【メール配信の登録方法について】

メール配信をご希望の方は、

- ①津山商工会議所 DX 推進室
☎0868-22-3141 までお電話
- ②当所ホームページ

<https://www.tsuyama-cci.or.jp>

または、経営支援アプリのメール配信お申込みフォーム
いずれかにより、会員事業所名と受け取りを希望する
メールアドレスをお伝えください。



■お問い合わせ先 津山商工会議所 DX推進室

☎0868-22-3141 ☎0868-23-5356

✉info@tsuyama-cci.or.jp

🌐<https://www.tsuyama-cci.or.jp>

スマホの方は
こちら▶



注意

迷惑メール対策をおこなっている方は、
「mail@admj.biz」及び「info@tsuyama-cci.or.jp」
からのメールが届くように設定を
お願いします。

取引先と共存共栄関係を築こうと考える経営者の皆様へ

パートナーシップ構築宣言は
2020年6月に創設されました。

パートナーシップ 構築宣言

詳しくは
Webへ



<https://www.jcci.or.jp/partnership/>

大企業と中小企業が
共に成長
するために!

取引先との
持続可能な関係
を築くために!

パートナーシップ構築宣言とは? あらゆる規模・業種の企業や個人事業主に宣言いただけます

取引先とのパートナーシップを強化するなど「新たな共存共栄関係の構築」を企業の代表者名で宣言(コミット)するものです。



新たなパートナーシップ
規模・系列を超えた連携
お互いWin-Winの関係で!



適正な取引価格の実現
価格交渉ができる関係に!



下請代金の支払条件改善
資金繰りの改善!

Webサイトではパートナーシップ構築宣言の仕組みや目的などの動画、PDFをご覧いただけます。



「パートナーシップ構築宣言」プロモーションビデオ
～アフターコロナを勝ち抜く
トップの決断!～



「月刊石垣」別冊
「パートナーシップ構築宣言」
特集号

メリット・効果は?

「宣言」が公式ポータルサイト※に掲載・公表されます

中小企業庁のニュースリリースにも
掲載されます(不定期)。

※(公財)全国中小企業振興機関協会の運営サイト



宣言企業は「ロゴマーク」を使うことができます

名刺にロゴマークを入れて、取引先との共存共栄の関係を築こうとする会社(ホワイト企業)であることをアピールできます。



一部の補助金で加点措置が受けられます

「ものづくり等補助金」や「省エネ補助金」等で加点措置が受けられます。



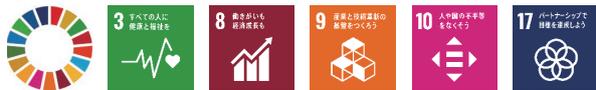
最新の支援措置(補助金の加点措置)等は、QRコードからご覧いただけます。

<https://www.biz-partnership.jp/info.html#chap-subsidy>



SDGs 「宣言」の取組みを実践することでSDGsも同時達成することになります

今や多くの企業が取組む「SDGs」(持続可能な開発目標)
「宣言」を通じて次の5つの目標に取組んでいることとなります。



積極的な宣言と実行で、サプライチェーン全体の
「成長」と「分配」の好循環を実現しましょう

日本商工会議所 会頭
小林 健

